



現代外国語学科の先生方とともに (前列中央が筆者)

ケラニヤ大学で日本語を学んでいる学生は三学年合わせて130人位いる。そのうち97%は女子学生である。スリランカでは高等教育の面で女性の活躍は目覚ましいものがあり、各界での進出が著しい。かつては女性の大統領や首相もいた。ケラニヤ大学構内を歩いていると、女子学生の方が多い。また教えている先生方も女性が多いような気がする。

新学期初めに、2年生には「私の好きな日本の言葉」、1年生には「私の将来の夢」という課題で作文を書いてもらった。その中から興味を

覚えた作文を紹介したい。お読みになってどのような感想をお持ちになれるだろうか。それぞれ日本への憧れと日本語を勉強して将来スリランカの後輩たちの役に立ちたいという考えをよくお分かりいただけると思う。2人の文章はほとんど手を加えておらず、原文のままである。スリランカの学生の日本語能力は大変高い。ただし、最近中国語と韓国語を学ぶ学生が増えて、日本語を選ぶ学生が減りつつあるということを知ることが、日本語を教える者として大変残念である。

## 私の好きな日本の言葉

アシター・リャナゲ (2年生 / 女性)

たくさんある私の好きな日本語の中で、ある一つのものについて書くことは少し難しいと思います。どうしてかと言うと、好きなものはたくさんあって、何かを選ぶというと、問題を生み出すからです。ただし、一つのものを選ばなければならない場合、私は、日本語にある一番好きな言葉として「花」という言葉を選ぶことにしました。

ところで、「花」と言う、皆が知っているように美しい植物であり、もし「花」と言うすてきなものがこの世の中になかったら、この世界は今のように美しさのない所になるかも知れません。人間にとって「花」というきれいなものは親しくてどうしても自分の人生とはなれたくない大切なものだと思います。現在でも昔と同じように花に愛された人や花のさまざまな色や形について研究を行った人や花の美しさを歌に詠んだ人たちがいます。これらの理由は

何かと言うと、人間は生まれた時から死ぬときまで、自然に「花」を愛しているからです。

私も「花」は大好きで、どんな「花」でもきれいに見えます。私にとって「花」がたくさん咲いている庭は、世界の中にある一つの天国のようなものです。どんな「花」にも好みを持っている私はスリランカの花はおろか日本の花も大好きです。日本の花の中で、代表的な花として桜をみとめられます。桜の花はすばらしいとくちょうを持っていて、すごくきれいな花だと思います。でも私は桜の花の本当の美しさを見たことがありません。いつか日本へ行って桜の美しい花をじっさいに見て、その美しさを本当に感じたいです。

日本語の場合は「花」と書く時、その漢字も「花」のようにきれいな漢字で出来ているので、その言葉を書くのも私は好きです。 (原文のまま)

## 私の将来の夢

イシャーラ・ペトゥム・ヌワンシリ (1年生 / 男性)

人によってそれぞれ夢は違います。なぜならそれぞれいろいろな目的があるからです。誰でも小さいころから夢があります。おおぜいの年とった人にも「しょうらい何をするの?」としつもんされました。そのとき私は医者になりたいとへんじしました。どうしてかと言うと、小さいころ私はよく医者のところへ行っていたからです。

私は小学生の時日本語を習うことをはじめました。それから日本語の興味がだんだん高くなりました。それで中学生のころ日本へ行くチャンスももらいました。2007年に日本へ行きました。色々なすばらしいけいけんをたくさんもらいました。日本人の友達もできました。それで帰国してからいっしょうけんめいに日本語を勉強してAレベル試験に科目として受けました。今日本語を学ぶ大学生になっています。

日本語を勉強する前には日本人に会ったときに話しかえるどころかかおがひきつってしまった私ですが、いっしょうけんめいに日本語の勉強を続けたおかげでりかひできるよになったと思います。ホームステイした時には日本の生活や日本の教育システムや科学技術の発点についてもだいたいのちしきを与えることができました。

このようなけいけんによって日本語は私のしょうらいの夢になりました。スリランカの大学を卒業してから日本の大学に入るつもりです。はいってからもっともっと勉強し、はくしかていまで行って日本の文化や文学などの中から一つをせんもんとしてならってからスリランカにもどってスリランカで日本語をべんきょうしてる学生におしえるつもりです。

(原文のまま)